

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

宇宙について知り、てみよう（くま組、3歳児）

2. 活動スケジュール

5～6月 図鑑や動画を見て宇宙について興味を深める 7月～8月 廃材を使って宇宙ロケットを作り作る
9～10月 自分でイメージを膨らませて自由に絵星を描いてみる 11月 五反田文化センタープラネタリウムに行く

3. 探求活動の内容

5月頃子どもたちから「日本どこにあるの？」と問いがあり、そこから地球→惑星→宇宙と話がながり図鑑や動画を見て宇宙についての知識をたかやましていきました。7月頃～9月頃にかけて段ボールや廃材を用いて世界に1つの宇宙ロケットを作り、保育室で宇宙の旅にできるテーマに遊びを展開してました。宇宙飛行士や星にも興味関心が広がったのでプラネタリウムに行き、てみよう子どもたちと話をし、11月に五反田文化センタープラネタリウムに行きました。その後、自分たちで想像を膨らませて絵星を製作して保育室に飾るといよいよ宇宙について楽しめました。

4. 活動中様子

ロケットを作ってみよう！

「宇宙飛行士さんって何に乗って宇宙に行くんだろう？」そこからみんなが図鑑を見て調べたこと...「ロケットに乗っていいことが判明！」「くま組にもロケットがほしい」ということまで...

段ボール、廃材、模造紙に画用紙と色紙は材料を使ってみんなが「宇宙まで飛べる大きいロケット」を製作しました。

「こうしてみよう」「こんな模様はどう？」とお友だちと話しながら楽しく作りすすめていく姿はいきいきとしていましたよ。



ロケット完成！

毎日いっしょに数ヶ月をかけてついに！世界にたった1つの宇宙ロケットが完成！！たくさん乗って、たくさん宇宙に行くイメージをふくらませて遊びました。窓からめく笑顔がステキな



プラネタリウムに行きましたよ！

お部屋での活動をたかやましていたので、実際に星や惑星も見に行き、てみよう！と五反田文化センターにみんなで行ってきました。ちゅりりおすかしの話も真剣に聞いて「うんうん」とうなずく姿が、ますます宇宙の不思議に魅了された子どもたちでした。



5. 振り返り

子どもたちのふとした疑問から、日常の活動を通して1つのことを深掘りしていく経験が子どもにとり、とても有意義だったと思う。また、自分たちで調べたり大人に聞いてみたりすることにより探究心が刺激され、自発的に「もっと知りたい」「〇〇はどうなんだろう」と行動ができたのだと思う。保育者もいっしょに楽しむことで互いに良い活動になった。ここの終わりが引きがき宇宙について探究していきたい。